

認知症ってどんな病気？

認知症は様々な原因で、脳の神経細胞が死んで、働きが悪くなり生活に支障をきたした脳の『病気』です。

認知症になると何も分からないのではなくできることもたくさんあります。症状は、人それぞれ違うので、その方に合わせた対応をします。

認知症を正しく理解することで、介護の負担が軽くなります。

ぜひこのパンフレットを
参考に見て下さい



もの忘れ看護相談外来 開設のお知らせ

当院では、日頃の暮らしの中で認知症や認知機能低下によって、生活のしづらさがある方やその家族の問題を一緒に考え、解決のお手伝いをするため、もの忘れ看護相談外来を開設しました。

担当者

第1・3木曜日 13:00~16:00	坂本真一郎認知症 看護認定看護師
第2・4木曜日 13:00~16:00	北原こゆき認知症 看護認定看護師

☆気軽にご相談ください

独立行政法人
国立病院機構菊池病院
住所：〒861-1116
熊本県合志市福原 208

☎096-248-2111

かがみ現象

～原因と対応について～



「かがみ現象」ってなに？

鏡に映っている自分に
話しかけている

なぜ？

時間の感覚がなくなり
自分が何歳になったか
わからなくなっています



自分がイキイキとしていた頃
(子供のとき、働いていた時)
に戻り、目の前の自分のことを
親や身近な人だと見まちがって
います。

鏡の中の自分と話をする時は どんな気持ち？

「お父さん、お母さんに 会えて嬉しい」



楽しかった子供の頃や仕事や
家事に忙しかった頃の過去の
中で過ごしています。

自分の年齢が、現実よりも
ずっと若いとっていて、
若返っています。

鏡の中の自分を見ても自分
だとわかっていません。

どう関わればいいのか？

楽しく話していれば 話を合わせます

幸せな表情で、楽しそうに
話をしていれば、「誰と
話しているの？」と尋ね、
話を聞きながら相づちを打つ。
「お母さんは〇才になったよ」
と現実を伝えると混乱します

嫌がって追い払うときは 安心させてください

「お客さんは、帰りましたよ」
と伝えて、安心させる

独立行政法人国立病院機構 菊池病院

出典：熊谷頼佳

タイプ別対応でよくわかる認知症ケア